

2017年10月13日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 林 希一郎

フィリピン国幹線道路バイパス建設事業（Ⅲ）
（有償資金協力）
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2017年9月11日（月）13:58～16:45
- ・場所：JICA 本部（1階 111 会議室）
- ・ワーキンググループ委員：柴田委員、鈴木委員、林委員、升本委員
- ・議題：フィリピン国 「幹線道路バイパス建設事業（Ⅲ）」環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) フィリピン国幹線道路バイパス建設事業（Ⅲ）の環境レビュー事前配布資料
 - 2) Supplemental Report (Updates) on Environmental Impact Assessment (August 2017)
 - 3) Resettlement Action Plan Implementation Monitoring Report (August 2017)
- ・参考資料：
 - 1) Environmental Impact Statement (February 2002)
 - 2) Resettlement Action Plan (July 2015)
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第84回委員会）

- ・日時：2017年10月13日（金）14:30～17:21
- ・場所：JICA 本部（1階 113 連結会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 本事業で使用する採石場のもたらす環境影響を、本事業との関係を踏まえて、確認し、必要に応じて対応するよう実施機関に申し入れること。
2. 生態系、水象、地形は環境影響なしとしているが、工事中、供用時の排水による影響を確認し、必要な対策を講じるよう、実施機関に申し入れること。
3. 道路建設、供用時の生態系（地域にとって重要な巨樹含む）への影響を確認し、必要な対策を講じるよう実施機関に申し入れること。
4. フェーズ1、2の影響が累積されるものについては、フェーズ3のモニタリングの対象に含まれることを確認すること。

社会配慮

5. 補償金の算定、支払いは、再取得価格に基づいて事前に行われることを確認し、もし再取得価格でない場合は、再取得価格での補償を実施機関に働きかけること。

以上